



平成13年5月2日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所2号機の原子炉起動と調整運転開始について

当社、敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉：定格出力116万kW）は、平成13年3月10日から第11回定期検査を行ってきましたが、全ての定期検査の工程を終了し、5月6日に原子炉を起動、同日中に臨界となる予定です。

その後は諸試験を実施し、5月上旬（5月9日～10日頃※）に定期検査の最終段階である調整運転を開始し、6月上旬には経済産業省の最終検査を受けて定常運転を開始する予定です。

※ 調整運転開始日は、タービンバランシング作業（調整運転開始前にタービン発電機の回転数を上昇させてタービン車軸の振動を測定し、振動が管理値より高い場合はタービン車軸にバランスウエイトを取り付け振動を小さくする作業）の実施の有無により変わります。

1. 主要工事等

（1）一次系冷却材分岐配管修繕工事（添付－1）

関西電力、美浜発電所2号機で平成11年4月に発生した余剰抽出系統配管からの漏えい事象に鑑み、一次冷却材配管の分岐管のうち、高温の一次冷却水が入り込み、配管曲がり部に高温の境界面を生成する可能性のある箇所について、前回定期検査作業終了後に温度変動を調査した。

この結果、配管曲がり部が健全であることを確認したが、温度変動の比較的大きい箇所について、予防保全の観点から配管曲がり部の位置を変更した。

（2）主タービン内部車室修繕工事（添付－2）

第2低圧タービン内部車室の第3、第4抽気取出接続部に蒸気による侵食が認められることから、減肉部を炭素鋼材料から耐侵食性材料（ステンレス鋼）に取替えた。

2. 燃料集合体検査結果

燃料集合体の外観点検を実施した結果、異常は認められなかった。

燃料集合体全数193体のうち、69体（そのうち64体は新燃料集合体）を取替えた。

3. 蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査結果

伝熱管全数（施栓管を除く）について渦流探傷検査を実施した結果、異常は認められなかった。

4. 次回定期検査の予定

次回定期検査は平成14年夏頃を予定している。

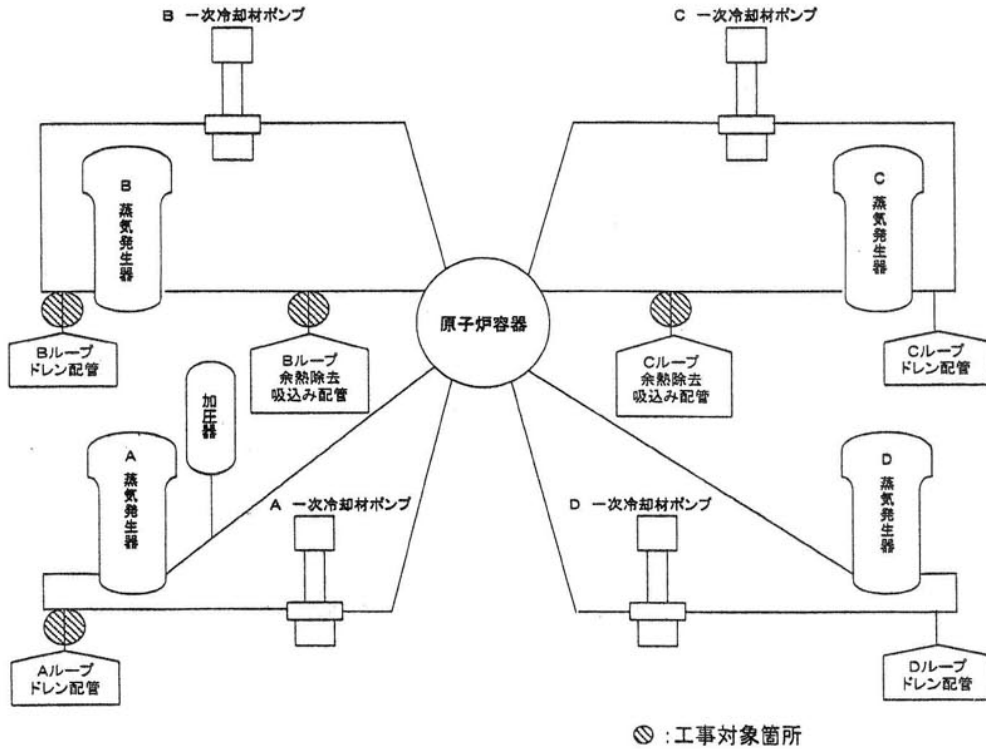
以上

添付－1 一次系冷却材分岐配管修繕工事

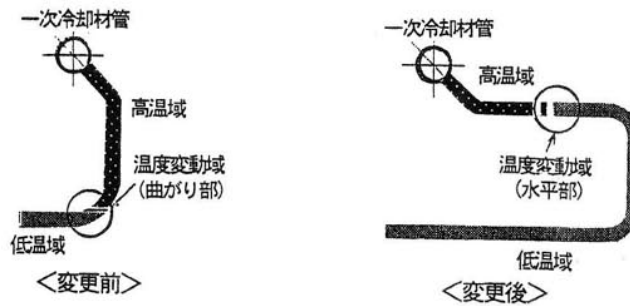
添付－2 主タービン内部車室修繕工事

一次冷却材分岐配管修繕工事

対象箇所	箇所数
余熱除去吸込み配管(B, C)	2
ループドレン配管(A, B)	2

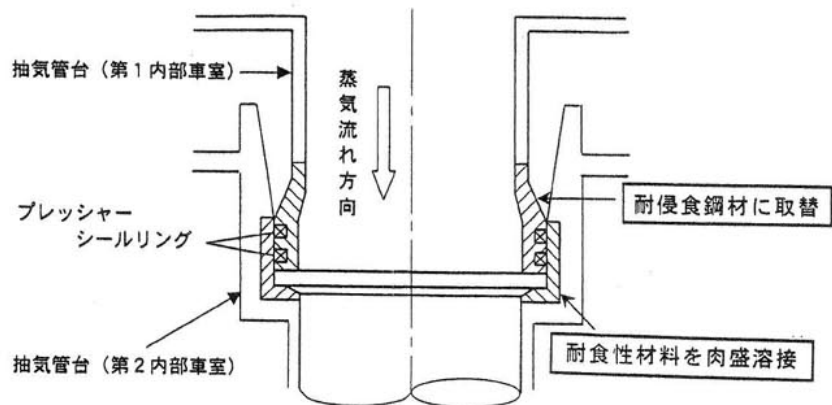
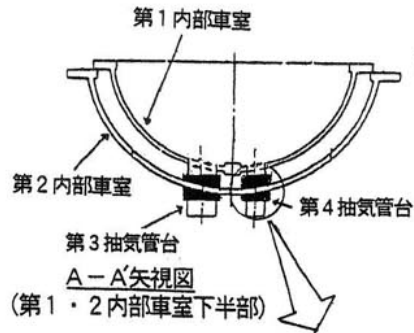
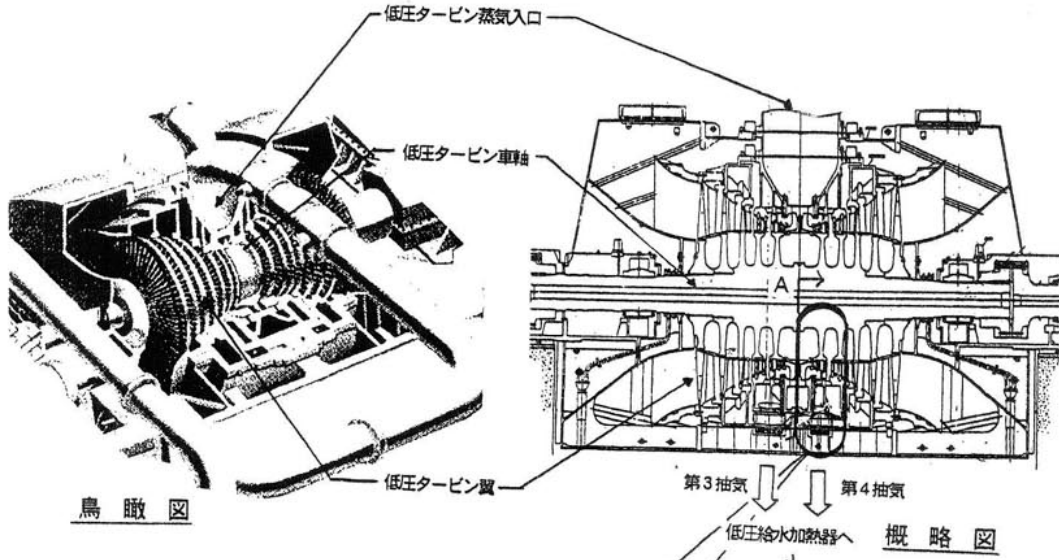


配管ルート変更比較例 (余熱除去吸込み配管 (B, Cループ))



一次冷却材管から曲がり部までの距離を長くすることにより温度変動域の先端が曲がり部まで達しないようにした。

低圧タービン内部車室修繕工事



抽気管接続部拡大図
(第3、第4抽気取出部)